

 市場価格

ドル建て      ドル/toz

Platinum	Price	Date
Open	1055.00	2023/5/15
High	1078.80	2023/5/19
Low	1046.00	2023/5/15
Close	1066.00	2023/5/19

円建て      円/グラム

Platinum	Price	Date
Open	4629.00	2023/5/15
High	4796.00	2023/5/19
Low	4620.00	2023/5/15
Close	4729.00	2023/5/19

ドル建て      ドル/toz

Palladium	Price	Date
Open	1516.00	2023/5/15
High	1547.00	2023/5/16
Low	1451.00	2023/5/19
Close	1513.00	2023/5/19

円建て      円/グラム

Palladium	Price	Date
Open	6624.00	2023/5/15
High	6812.00	2023/5/19
Low	6459.00	2023/5/18
Close	6710.00	2023/5/19

 ニュースエクスプレス

## パラジウムとプラチナの ETF、リバウンド近いか

経済不安と国際関係の緊張を背景に今年はゴールドの需要が高まり、年初からの価格は 10.60% 上がるなど、ゴールドは最も優れたパフォーマンスを誇る貴金属となった。

それとは対照的にプラチナとパラジウムは伸び悩み、それぞれ価格の下落率は 2.65%と 15.88% となっている。しかし気候変動への対応を迫られている中で、人々はプラチナにもパラジウムにも大きな関心を持つべきだ。

その触媒特性、融点と純度の高さなどから、どちらのメタルも自動車産業、燃料電池技術、高級宝飾品など医療・工業・電子材をはじめ多くの分野に使われている。

さらにアナリストらによると、世界のプラチナ埋蔵量のうち80%以上があり、世界最大の白金族金属（PGMはプラチナ、パラジウム、ロジウム、イリジウム、オスミウム、リテニウム）生産を誇る南アフリカでは減産が予測されており、今年はプラチナが不足するとしている。

回復途中の自動車産業ではプラチナとパラジウムを浄化触媒装置に使っているが、プラチナの将来性の方がパラジウムよりも明ると言える。より安価なプラチナをパラジウムの代わりに使う代替の動きが増えている上、プラチナは水素を製造するための水電解装置と電気自動車を動かす燃料電池にも使われている。

プラチナとパラジウムの価格に連動した上場投資信託（ETF）は、先週の上位50のETFのうち、9つを占めるなどと、大きく伸びた。プラチナETFは平均で4.77%上がり、パラジウムETFは7.24%上がった。

<https://ca.investing.com/analysis/are-palladium-and-platinum-etfs-set-for-a-rebound-200566971>

## 自動車メーカーのプラチナ需要の伸びで、供給不足に、JM

ジョンソン・マッセイが5月15日に行った発表によると、自動車メーカーは今年はパラジウムよりもプラチナを多く使う計画で、それがプラチナを2020年以來初めて供給不足に追いやり、今まで供給不足だったパラジウム市場は需給バランスを取り戻すとしている。プラチナもパラジウムも、ロジウムと共に排気ガスの浄化に使われるが、プラチナはそれ以外の工業分野や宝飾品にも使われる。オンスあたり約1050ドルのプラチナは、1500ドルのパラジウムよりも安く、ロジウムは7500ドル。したがってコストを抑えるためにメーカーではパラジウムとロジウムを減らしてプラチナを増やしている。一方で、プラチナを多く使う大型車の生産は増えており、内燃機関を使う普通乗用車はパラジウムとロジウムを多く使う電気自動車にマーケットシェアを奪われている。自動車触媒メーカーのジョンソン・マッセイは、レポートの中で、自動車セクターのプラチナ需要は11%増え、投資家も現物を買いたい求めるため、プラチナ需要は全体で19%増えて232トンになると予測している。プラチナの供給は5%増えるが、それでも市場は3.98トンの不足で、昨年の2310トンの余剰からは大きな変化であるとしている。

パラジウムに関しては、自動車メーカーの需要は2%減り、全体の需要は305.7トン、市場の供給不足は昨年の16.5トンから1.3トンに縮小されるだろうとしている。

ロジウムに関しては、自動車需要は少し減るが、ガラス産業の需要が増えて全体の需要を押し上げ、32.8トンになるとしている。ロジウム市場は2022年は1.0トンの供給余剰だったが、それが0.4トンに減り、3年連続の供給余剰となるとしている。

同じく5月15日にコンサルティング会社のメタルズフォーカスは、プラチナの供給不足は29.6トン、パラジウムの供給不足は21.9トン、ロジウムは1.05トンの供給不足との予測を発表した。WPICは今年のプラチナの供給不足は30.5トンと予測している。

<https://finance.yahoo.com/news/rising-demand-automakers-pushing-platinum-120000336.html>

Translated by Kazuko OSAWA

 WPIC直近の活動

- 5月15日に、ロンドンプラチナウィークの一環として、WPICは2023年見直しアップデートと23年第1四半期の説明会を開催した。2023年第1四半期の供給は南ア鉱山生産の問題と廃車数の減少で総供給量は前年比マイナス9%。精錬供給は南アの生産問題で前年比マイナス8%。リサイクルについては廃車のリサイクル回収額の問題で前年比マイナス12%。一方で、需要に関しては好調だった自動車と工業需要、投資も資金流入で前年比28%アップとなった。詳しくは「2023年Q1 プラチナ四半期レポート プレゼンテーション」をご覧ください。  
[https://platinuminvestment.com/files/884737/WPIC\\_Platinum\\_Quarterly\\_Q1\\_2023\\_Presentation.pdf](https://platinuminvestment.com/files/884737/WPIC_Platinum_Quarterly_Q1_2023_Presentation.pdf)



免責事項: 本誌は情報提供に過ぎず、WPICの投資勧誘を意図するものではなく、また、そのように解釈されるべきではありません。